

法人の理念

キリストの愛の精神に立って、福祉サービスを必要とするすべての人に仕え、日常を支援し、常に人びとの人権を護りその人格の尊厳を尊重します。

2023年度

7月園だより



円町まぶね隣保園
京都市中京区西ノ京北円町50
TEL (075) 462-8829
携 帯 (080) 4625-9085(緊急用)
(080) 4625-9065

今月のみことば

「主よ、朝ごとに、わたしの声を聞いてください。」
(詩編5篇4節)

今月のねらい

きもちいい

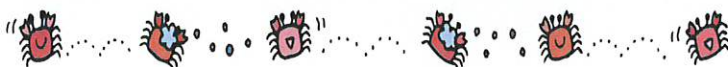


しいの実 周りの物や人に興味を持ち始める。
たんぽぽ 砂や泥、水や草花に触れて気持ち良く過ごす。

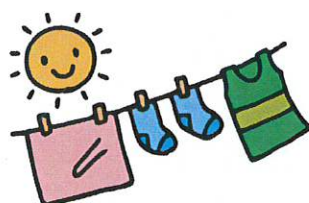
み ず 砂や泥、水や草花に触れて気持ち良く遊ぶ。

気持ちよく

か ぜ 水、土、砂など夏の自然に触れて心地良さを感じる。
そ ら 土、砂、水など様々な感触を楽しむ。
たいよう 土、砂、水に触れて感触を楽しみ遊ぶ。



7月の行事



- 3日(月) プール開き
- 4日(火) 巡回保育相談
- 7日(金) 七夕
- 11日(火)・14日(金) 洛陽総合高校学生受入れ
- 25日(火) 陶芸教室[たいよう組対象]
- 28日(金) お誕生会

幼児健診...日程は後日お知らせします。
避難訓練---未定



花の日にはお花を持って来ていただき、ありがとうございました。

諸費請求お知らせ

24日(月)

エンペイ支払い期日
24日(月)~28日(金)

蒸し暑い日が続いていますが、子どもたちは汗をいっぱいかきながらも色々な遊びに夢中です。7月はプール開きがあり七夕も楽しみです。子どもたちの体調管理に気をつけながら今月も楽しく過ごしていきたいと思います。

お誕生日おめでとう



子どもの熱中症を防ぐ5つのポイント

☆顔色や汗のかき方を十分に観察しましょう

(顔が赤い・ひどく汗をかいている等)

☆服装を選びましょう

(汗を吸う・熱が発散されやすいもの)

☆水分をこまめに摂取しましょう

☆日頃から暑さに慣れるようにしましょう

(乳児の外出は午前中や夕方などの涼しい時間に)

☆規則正しい生活を心掛けましょう



新しいお友だちを紹介します。

感触遊びの大切さ



暑くなってくると水に触れる機会が多くなり、それぞれの子どものペースで楽しむようになります。光に当たるとキラキラと眩しい水、ひんやりと気持ちいい、ゆらゆらと動く水面を叩くとパシャパシャ音がする等、子どもたちは五感を働かせて遊んでいます。他にも絵の具や氷、片栗粉、寒天、泥んこ遊び等で形のないところから作り出す楽しさや全身や指先を使って、思い切り楽しむ経験をする事で様々な遊びや学びにつながっていきます。



よく子どもから「ねえ、聞いて〜」と声をかけられることがあります。彼らには嬉しいことや悲しいこと疑問等、聞いて欲しいことがたくさんあって、保育者や大人に「ねえ〜、あのね」と声をかけてきます。自分の話に耳を傾けてくれる存在が身近にいるということは、子どもたちにとって安心し自分は大切にされていると感じることでしょう。

逆に、話かけても「今忙しいから」とか「また後にして!」と邪険に扱われてしまうと、悲しい気持ちになります。勇気を振り絞って言葉にしたのであれば尚更のことでしょう。それは子どもでも大人でも同じではないでしょうか。

今月の聖句は「わたしの声を聞いてください」と詩人の神様に対する訴えです。

普段、私達は訴え出るような大きな出来事は無いかもしれませんが、心の中にある心配事や不安な気持ち、恐れは感じているものです。しかしそのような気持ちや感情を知らず知らずに抑え込んで無いもののように扱ってしまっていることもしばしばです。

聖書を読むとイエス様のもとに貧しく苦しみを抱えた人たちが大勢集まってくるシーンがあります。その一人一人の声にイエス様は耳をじっくり傾けて優しい言葉をかけて寄り添う姿が描かれています。私達も例外無く、心のどこかに当時の人たちと重なる部分があります。涙しか出ず言葉にできない心の声さえも神様は私達の声を聴いてくださる方です。

「ねえ、あのね」とかける声をしっかり聴いてくださって寄り添ってくれる神様の守りがあることに安心して7月を過ごしていきましょう。

苦情解決委員会

苦情解決責任者	沼津 孝治
苦情受付担当者	松尾 恵美
第三者委員	花岡 尚樹 畑 健次郎 酒井 咲子